



別府ゆうきくん

枕崎市立別府中学校
平成29年12月18日

～ 「冬」は力を蓄える時期 ～

校長 立山佳人

以前、奈良の薬師寺の管主様から「法話」を伺った折、日本の四季は「人生」を教えているといわれました。春は幼児から青年期、夏は活動的な成年期、秋は円熟した壮年期、そして冬は穏やかな老年期にあたるといえます。

誰しも、人生を順風満帆で、できれば幸せにより良く生きたいと願うのは当然なことですが、しかし苦しみや悩みがあるのも人生です。そして、大切なのはその苦しく我慢する時期（冬の時期）に、どう過ごすかなのではないのでしょうか。

落葉樹は、冬の訪れとともに全ての葉を落とし、じっと春の来るのを待ち続け、それまでに根からしっかりと栄養を蓄えます。そして時期（春）が来れば一斉に芽吹き、緑の葉を生い茂らせます。

日本人女性として、オリンピックの女子マラソンで初優勝をした高橋尚子選手は、次の詩が好きでよく色紙にも書いていました。

何も咲かない寒い日は

下へ下へと根をのばせ

やがて大きな花が咲く

栄光と挫折を数多く経験している高橋選手だけに、その言葉には真実の響きと説得力があります。

3年生は、これから自らの受験という進路に向かい気持ち的にも苦しい時期を迎えますが、今はそのためにじっと我慢し、

力を蓄える時期です。それを、やり切れた人が本当の春を、喜びを持って迎えることが出来ます。そして何より、頑張ったという努力は決して無駄にはなりません。3年生はもちろん、1・2年生もこれから、自分の夢と目標に向かってしっかりと力を蓄えて下さい。



昨日までの自分を追い抜け！

12月9日（土）に別府中伝統の校内駅伝大会が実施されました。中学年混合で地域対抗8チーム6区間に分かれ、たすきをつなぎました。感動的なシーンが多く見られました。2学期の締めくくりに相応しい一日になりました。

どの区間もトップのタイムは、昨年より速くなっており、朝ランが全校生徒の基礎体力向上に役立っていること、保護者の皆さまの声援や交通整理の協力ありがとうございました。



【総合】

- 1位：板敷Aチーム
- 2位：茅野区チーム
- 3位：下山チーム

【区間賞】

- 1区：中村 光里さん（2年・東西白沢）
- 2区：下山 翔也さん（2年・下山）
- 3区：臼井 七海さん（1年・板敷A）
- 4区：下山 巧真さん（2年・下山）
- 5区：松久保 乃瑚さん（3年・板敷A）
- 6区：茅野 壮馬さん（3年・茅野区）

★一園二校合同教育講演会★

☆講師：丸山屋敏教育長☆
演題「子は親の鏡 親は子の鑑」
子育ての極意とユーモア満載の感動的な90分でした！



別府中学校PTA活動、いつもありがとうございます

最近の3つの活動を紹介します！

		
家庭教育学級 研修視察	県PTA研究 大会(阿久根)	市人権問題 啓発研修会

たくさんの受賞おめでとう！

- ◆ 中村光里さん
(県青少年育成県民会議「家庭の日」ポスター)
：努力賞
- ◆ 中原久世李さん
(第37回全国中学生人権作文コンテスト県大会)
：奨励賞

3学期はいよいよ勝負の時です！

早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。3年生は三者相談が終わり、私立高校入試手続きも済んで気持ちが入って当然の時期でしょう。

冬休みは、時間がありそうでありませせん。過去問を活用した勉強がベストです。あらかじめ出題パターンや出題レベルを知っておくのは、皆さんが部活動で練習試合をこなすメインの試合に臨むのとまったく同じです。たいていのことは練習量に比例します。このことは1・2年生にも言えるのです。「3学期」は1年の集大成の時であると同時に「次学年の0学期」つまり準備学期です。自分の将来への投資と捉え、弱点補強の勉強に取り組みしましょう。

★鹿児島学習定着度調査（1・2年）★

実施日：1月17日（水）18日（木）
教科：5教科（今、習っているところまで）
内容：「基礎・基本」と「思考・表現」

12月下旬～1月の行事予定

- 12/15（金）授業参観・学級PTA（1・2年）
- 12/15（金）市民あいさつ運動
- 12/16（土）別府校区「そまんずし作り」
- 12/17（日）小中合同門松づくり
- 12/22（金）2学期終業式
- 1/3（水）枕崎市成人式
- 1/9（火）3学期始業式
- 1/10（水）～11（木）第4回実力テスト（3年）
- 1/17（水）～18（木）鹿児島学習定着度調査（1・2年）
- 1/21（日）小・中合同空き瓶回収・学林地下払い作業
- 1/28（日）第41回枕崎新春かつおジョギング大会



「年越しに心とロマンを」



伝統料理「そまんずし」の持つ意義！

◆ 12月16日（土）に別府公民館で青少年講座「高齢者と子どもたちとのふれあい交流そまんずし作り」が開催されました。

◆ 「そばのぞうすい」→訛って「そばんぞすい」→さらに訛って「そまんずし」という説が有力のようです。そばすい・そばじゅいとも言われる南薩地域の郷土料理です。昔の別府は水が少なくお蕎麦が主食だったそうです。そこでこの「そまんずし」が生まれたんですね。

◆ 鹿児島県の玄蕎麦生産量は、実はなんと全国第2位！みんな原料で売ってしまうから意外に知名度が上がらないそうですが、鹿児島独特の蕎麦文化と伝統が根付いています。高齢者に教えてもらうことは大変貴重で、今後も別府の文化として大切にしていきたいですね。

